学校番号	１００９

令和３年度　農業科

教科	農業	科目	農業と環境	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「農業と環境」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これから高校で学ぶ教科「農業」の基本的な科目です。農業と環境のかかわりや農業の役割、作物の生育の仕組み、栽培技術について、座学・実習・ワークショップ等を通して、科学的な考え方や知識・技術を身に付けます。

2　学習の到達目標

・農業及び環境についての興味・関心を高める。
・農業に関する基礎的な知識と技術を習得する。
・科学的思考力と問題解決能力を伸ばし、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	農業生物の育成と環境の保全など、農業と環境について興味・関心を持ち、課題の探求に意欲的に取り組むと共に、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	農業生物の育成と環境の保全など、農業と環境に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断すると共に、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	農業生物の育成と環境の保全など、農業と環境に関する基礎的な技術を身に付け、農業生物の育成と環境の保全に関するプロジェクトを合理的に計画し、技術を適切に活用している。	農業生物の育成と環境の保全など、農業と環境に関する基礎的な技術を身に付け、農業生物の特性と環境保全・創造の重要性を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークショップの記述 実習記録表 レポート・発表 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやワークショップの記述 実習記録表 レポート・発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ノートやワークショップの記述 実習記録表 レポート・発表 定期考査・実技テストの結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ノートやワークショップの記述 実習記録表 レポート・発表 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	C	d		
1	農業と環境を学ぶ	○農業と環境の学び方 学校農業クラブ活動	○			○	a:農業と環境の学び方、作物の栽培について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:農業と環境の学び方、作物の栽培について課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c:農業と環境の学び方、作物の栽培について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d:農業と環境の学び方、作物の栽培について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート 定期考査
	栽培の基礎	○トウモロコシ・トマトの性質と形態 課題設定と栽培計画 加工と利用	◎	○	◎	○		
2	栽培と飼育の基礎	○イネの性質と形態 課題設定と栽培計画 加工と利用 ○ニワトリの性質を形態 課題設定と飼育計画 加工と利用	◎	○	◎	○	a:作物の栽培とニワトリの飼育について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 作物の栽培とニワトリの飼育について課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 作物の栽培とニワトリの飼育について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 作物の栽培とニワトリの飼育について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート 定期考査
3	環境の調査と環境保全	○環境の調査 土壌の構造 土壌の山荘分布調査	◎	○	◎	○	a:環境や農業・農村について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 環境や農業・農村について課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 環境や農業・農村について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 環境や農業・農村について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート 定期考査
	私たちの暮らしと農業・農村	○暮らしと農業・農村 人間と植物・動物とのかかわり 農業・農村の役割 農業とエネルギー	◎	○	◎	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。